

【活動報告】

四季の森公園「自然を訪ねて～昆虫を探そう」

日 時：8月18日（日）13：00～14：40

場 所：県立四季の森公園 会議室、はず池周辺

参加者：一般10名、スタッフ6名、公園職員1名

熱中症アラートが出ていたせいか、予約人数の半数がキャンセルで、図らずも少数精鋭での開催となりました。

前半は会議室での座学。最初に唱歌「虫の声」を聞いてもらいました。虫の鳴き声をチンチロリンとかリーンリンとかに聞きなすあの歌です。歌を聴いた後、パソコンから本物の虫の鳴き声を再生して聞いてみました。リーダーが「マツムシの鳴き声はチンチロリンって聞こえる？」と尋ねると、「聞こえる」という素直な反応。鳴き声といっても、音は羽どうしや羽と後ろ足をこすり合わせて出していることももちろん話しました。

会議室では、鳴き声の話のほかに、クズやササなどの葉に見られる食べ痕など昆虫の生活痕跡の話や、毒を食べて鳥などに食べられないようにしているチョウやそのチョウに羽の模様を似せて食べられないようにしているガの話、触ってはいけない毒虫の話、寄生バチや、水生昆虫とカマキリに寄生する不思議なハリガネムシ（昆虫ではない）の話などをして、最後に捕まえておいたアメンボの甘い匂い、キバラヘリカメムシの青りんごの匂いを嗅いでもらいました。コオニヤンマのヤゴの抜け殻、生きたスズムシ、食べ痕のついたササの葉なども用意してありましたが、話の途中スズムシが鳴いてくれました。



いよいよ外に出て観察です。まずは池でトンボやアメンボを観察。



シオカラトンボ、オオシオカラトンボ、コシアキトンボ、ギンヤンマ、よくわからない赤トンボなどトンボがいろいろ見られました。アメンボもたくさんいました。

食べ痕とか昆虫の生活痕跡も面白いけど、やっぱり飛び回る虫を捕まえるのが楽しいですね。



何を捕まえたかな？



これはウチワヤンマ



ハラビロカマキリの抜け殻



カラスウリの葉にたくさんいたクロウリハムシ



青色が鮮やかなオオシオカラトンボの雄



羽が美しいキマダラセセリ

外で捕まえてきて、解散前に会議室のカーテンにとまらせたクロメンガタスズメ

